

サイバーショット取扱説明書 はじめにお読みください



DSC-N1

MEMORY STICK™

本書と別冊の「サイバーショット取扱説明書 活用編・困ったときは」をよくお読みのうえ製品をお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

警告 電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、人身への危害や火災などの財産への損害を与えることがあります。

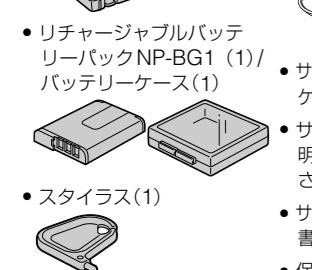
「活用編・困ったときは」の3ページと122ページから124ページに、製品を安全にお使いいただくための重要な注意事項と製品の取り扱いを示しています。ご使用の前によくお読みください。

© 2005 Sony Corporation Printed in Japan

2-652-805-01 (2)

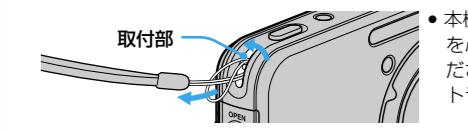


付属品の確認をください



ご注意

- はじめてお使いになるときは、付属のバッテリー NP-BG1 を充電してください。
- 液晶画面は有効画素 99.99% 以上の非常に高精度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。



- 必ずソニー製純正バッテリーをお使いください。

■ サイバーショット オフィシャルWEBサイト

<http://www.sony.co.jp/cyber-shot/>

サイバーショットの最新サポート情報(製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法など)はこちらのホームページから。

<http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/>

この説明書は 100% 古紙再生紙と
VOC(揮発性有機化合物)ゼロ植物
油性インキを使用しています。

2652805010

「メモリースティック デュオ」は付属しておりません。
本機には 26MB の内蔵メモリーを搭載しておりますが、より多くの撮影のためには「メモリースティック デュオ」の購入をおすすめいたします。
「メモリースティック デュオ」は本機で使用可能です。
リチウムイオンバッテリー NP-BG1 (1) /
バッテリーケース (1)
リストストラップ (1)
サイバーショットアプリケーションソフトウェア (1)
サイバーショット取扱説明書はじめにお読みください (本書) (1)
サイバーショット取扱説明書 活用編・困ったときは (1)
保証書 (1)

コンセントの電源で本機を使うときは

別売りの AC アダプター AC-LS5K を使うと、コンセントにつないで使うことができます → 別冊「活用編・困ったときは」15 ページ。取り扱いについて詳しくは、AC アダプターの取扱説明書をご覧ください。

バッテリーの残量を確認するときは

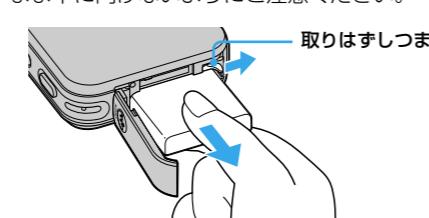
POWER ボタンを押して電源を入れ、液晶画面で確認する。

残量表示	充電済み	充電中	充電残量少	充電残量少	充電残量無
バッテリー 残量の目安	充分ある	少なくなった	撮影、再生がもうすぐできなくなる	充電済みのバッテリーと交換するか、充電する(警告表示が点滅)	

- 正しい残量を表示するのに約 1 分かかります。
- 使用状況や環境によっては、正しく表示されません。

バッテリーを取り出すときは

バッテリー / 「メモリースティック デュオ」カバーを開け、取りはずしつまみをずらしバッテリーの端に指をかけて取り出してください。落下防止のため、つまみをずらしたまま下に向かないようにご注意ください。



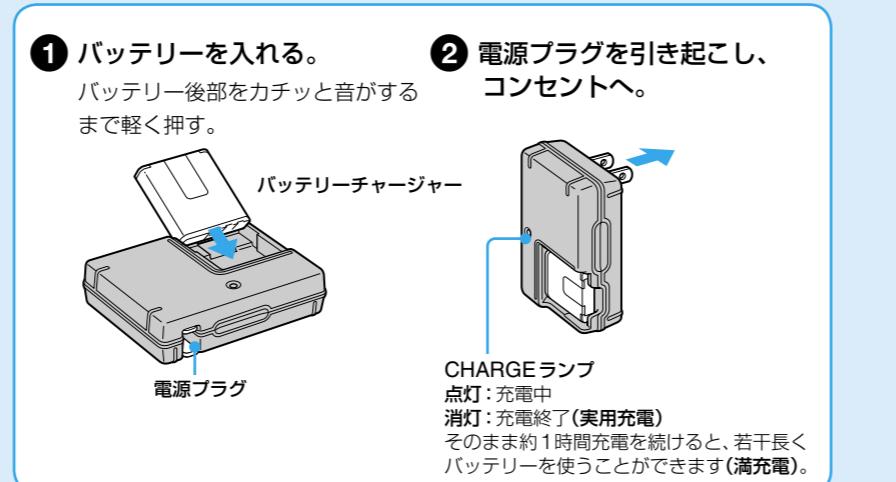
海外で使うときは

バッテリーチャージャー(付属)や AC アダプター AC-LS5K(別売り)は全世界(AC100V ~ 240V・50/60Hz)で使えます。ただし、地域によっては壁のコンセントに差し込むための変換プラグアダプターが必要になる場合があります。あらかじめ旅行代理店などでおたずねの上、ご用意ください。

- 電子式変圧器(トラベルコンバーター)は故障の原因となるので使わないでください。

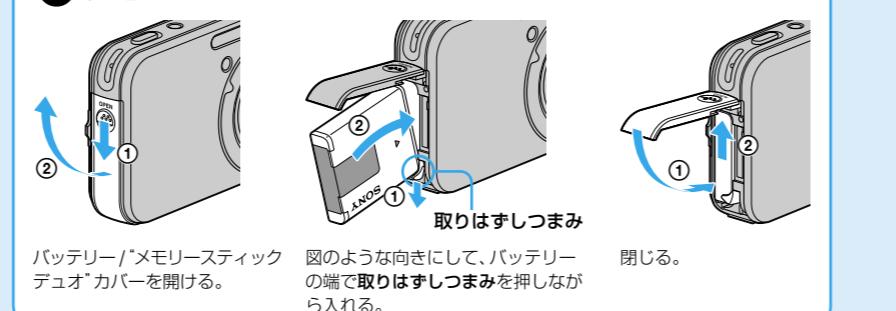
コンセントの形状例	主に北米	主にヨーロッパなど
変換プラグアダプター	不要	

1 バッテリーを準備する

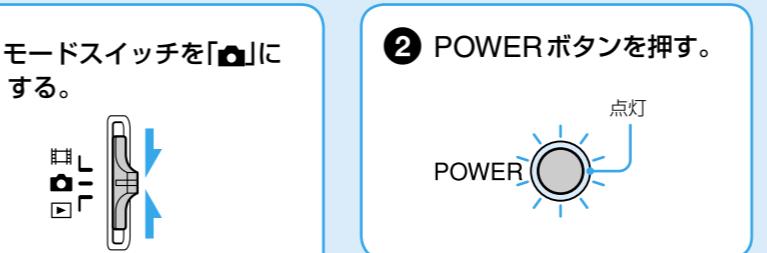


- バッテリーチャージャーは、お手軽なコンセントをご使用ください。
- 充電が完了して CHARGE ランプが消えても電源からは遮断されません。使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- 充電が終わったら、バッテリーチャージャーをコンセントから抜き、バッテリーをバッテリーチャージャーから取り出してください。
- 付属のバッテリーを使いつつから、温度 25°C での満充電時間は約 330 分、実用充電時間は約 270 分です。使用状況や環境によっては、長くかかります。

3 充電したバッテリーを入れる。



2 電源を入れ、時計を合わせる



3 画面のボタンをタッチして、時計を合わせる。

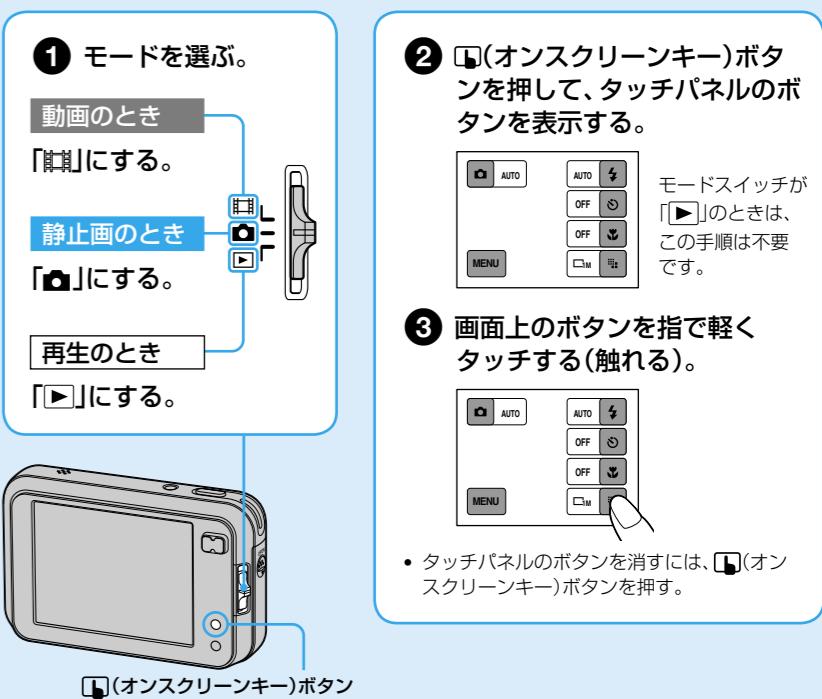
- 希望の日付表示順にタッチして、→をタッチする。
時計設定 2/2 画面になる。
- 設定する項目をタッチしてから、▲/▼をタッチして数値を設定する。
- 【実行】をタッチする。
時計合わせを中止するには、【キャンセル】をタッチする。

3 「メモリースティック デュオ」(別売り)を入れる



「メモリースティック デュオ」が挿入されていないときは
本機の内蔵メモリー (26MB) に画像を記録/再生します。→別冊「活用編・困ったときは」22 ページ

4 タッチパネルを操作する



タッチパネルのボタンについて

- 設定したい項目がないときは、▲/▼をタッチしてページを変える。
- をタッチすると、1 つ前の画面に戻る。



- タッチパネルを操作するときは、指または付属のスタイルスティラスで軽く押してください。
- 付属のスタイルスティラス以外の先の尖ったもので押さないでください。
- 液晶画面を必要以上に強く押さないでください。

「メモリースティック デュオ」を取り出すときは

アクセスランプ バッテリー / 「メモリースティック デュオ」カバーを開け、「メモリースティック デュオ」を 1 回押す。

アクセスランプ点灯中は

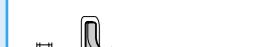
絶対にバッテリーや「メモリースティック デュオ」を取り出したり、電源を切らないでください。データが壊れることがあります。



5 用途に合わせて画像サイズを決める

1 モードを選ぶ。

静止画のとき
「」にする。

動画のとき
「」にする。

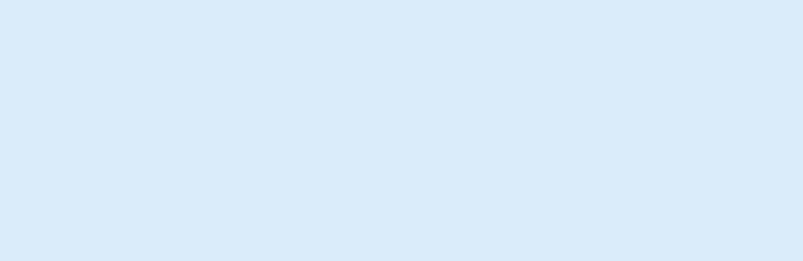
2  (オンスクリーンキー)ボタンを押して、タッチパネルのボタンを表示する。

3  (画像サイズ)ボタンをタッチする。

4 希望の画像サイズをタッチする。

被写体をフレーム中央部におさめる。マイクの穴をふさがないようにする。

5 ボタンをタッチして、設定を終了する。



静止画の画像サイズについて

「画像サイズ」について詳しく述べる→別冊「活用編・困ったときは」12ページ
お買い上げ時の設定は \checkmark で示しています。

画像サイズ	用途の例	撮影可能枚数	プリント時
8M (3264 × 2448)	A3サイズプリントやA4サイズ高精細プリントする場合	少ない	精細
3:2* (3264 × 2176)			
5M (2592 × 1944)	A4サイズプリントやA5サイズ高精細プリントする場合		
3M (2048 × 1536)	写真のL判でプリントする場合	多い	粗い
1M (1280 × 960)	より多くの画像を撮影する場合		
VGA (Eメール) (640 × 480)	Eメールへの画像添付やホームページ作成用の場合		
16:9 (HDTVサイズ) ** (1920 × 1080)	ワイドテレビや、ハイビジョン対応テレビで見る場合***		

* 写真の印画紙、ポストカードなどと同じく3:2の横縦比で撮影します。

** プリント時に両端が切れることができます。→別冊「活用編・困ったときは」106ページ

*** メモリースティック®スロットやUSB経由で接続すれば、より高画質でお楽しみいただけます。

静止画の撮影可能枚数と動画の記録可能時間

画像サイズを変えると静止画の撮影可能枚数と動画の記録可能時間が変わります。
詳しくは→別冊「活用編・困ったときは」21ページ



• 撮影可能枚数と記録可能時間は、撮影状況によって異なります。

6 簡単に撮る(オート撮影)

1 モードを選ぶ。

静止画のとき
「」にする。

動画のとき
「」にする。

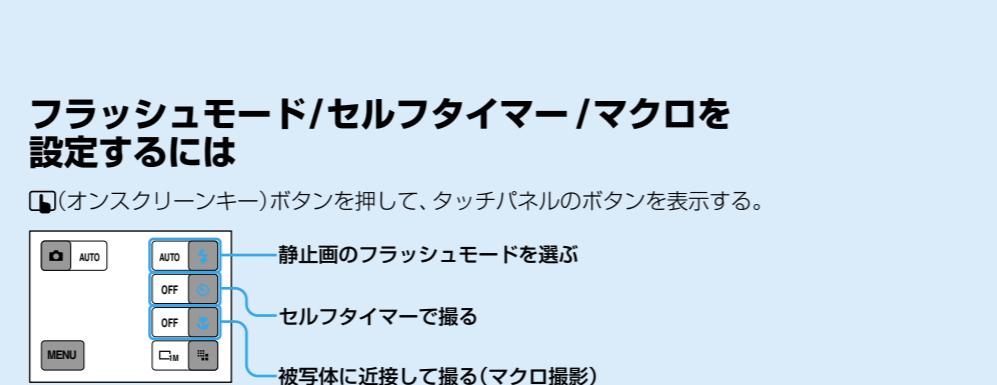
2  (オンスクリーンキー)ボタンを押して、タッチパネルのボタンを表示する。

3  (画像サイズ)ボタンをタッチする。

4 希望の画像サイズをタッチする。

被写体をフレーム中央部におさめる。マイクの穴をふさがないようにする。

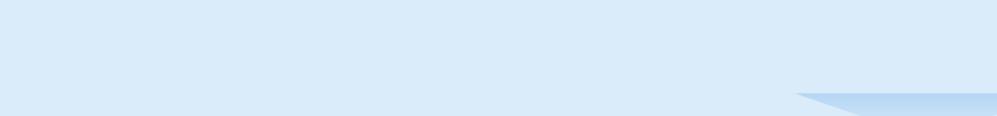
5 ボタンをタッチして、設定を終了する。



フラッシュモード/セルフタイマー/マクロを設定するには

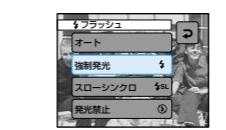
1  (オンスクリーンキー)ボタンを押して、タッチパネルのボタンを表示する。

静止画のフラッシュモードを選ぶ
セルフタイマーで撮る
被写体に近接して撮る(マクロ撮影)



静止画のフラッシュモードを選ぶ

画面の \downarrow をタッチする。設定したい項目にタッチして、 \rightarrow をタッチする。



オート	光量不足または逆光と判別したとき発光(お買い上げの設定)
強制発光(○)	常に発光
スローシンクロ(○SL)	暗い場所ではシャッタースピードを遅くし、フラッシュが届かない背景も明るく撮影(強制発光)。
発光禁止(○)	発光しない

• フラッシュ推奨距離([ISO]が「オート」の時)
W側: 約0.2 ~ 5.0m
T側: 約0.34 ~ 2.6m

• フラッシュは2回発光し、1回目で発光量を調整します。

セルフタイマーで撮る

(マクロ撮影)

画面の \downarrow をタッチする。

[入]にタッチして、 \rightarrow をタッチする。

セルフタイマー	ランプ
---------	-----

• フラッシュ推奨距離([ISO]が「オート」の時)
W側: 約0.2 ~ 5.0m
T側: 約0.34 ~ 2.6m

• フラッシュは2回発光し、1回目で発光量を調整します。

被写体に近接して撮る

(マクロ撮影)

画面の \downarrow をタッチする。

[入]にタッチして、 \rightarrow をタッチする。



• ズームをW側いっぱいにしてから撮ることをおすすめします。

• ピント合わせの範囲が狭くなるため被写体全体にピントが合わないことがあります。

• 通常よりもピント合わせが遅くなります。

レンズ先端からの撮影可能距離

W側いっぱいのとき: 約6cm

T側いっぱいのとき: 約34cm

7 画像を見る/削除する

1  (再生)にする。

2  (前)/ (次)で画像を選ぶ。

静止画の場合: 画像サイズを表示
動画の場合:  を表示

3 動画を再生するには

▶をタッチする。

再生バー

早送り/巻き戻し:  /

(通常再生に戻るには▶)

音量調節: [MENU] → [音量] → +/ -で調節 → [終了]の順にタッチする。

再生中止: ■

• 画像サイズ[160]で撮影した動画は、ひとまわり小さく表示されます。

ズームするには

ズームボタン

• レンズの倍率(3倍)を超えるとデジタルズームになります。
[デジタルズーム]の種類と画質について→別冊「活用編・困ったときは」57ページ

• 動画撮影中はズーム倍率を変えられません。

静止画のピントがうまく合わないときは

• 被写体まで、約50cm以上の距離が取れないときは、「マクロ撮影」(左記)する。
• 自動でピントを合わせられない場合は、AE/AFロック表示の点滅が遅い点滅に変わり、「ビビッ」と音がしません。構図を変えるなどしてください。

ピントが合いにくい被写体:

- 被写体が遠くて暗い
- 被写体と背景のコントラストが弱い
- ガラス越しの被写体
- 高速で移動する被写体
- 鏡や発光物など反射、光沢のある被写体
- 点滅する被写体
- 逆光になっている被写体

画面の表示については

→別冊「活用編・困ったときは」16ページ

静止画を見るときは(再生ズーム)

静止画を再生中に \times ボタンを押すと、ズームできる。 \times ボタンで戻る。

ズーム位置変更: Δ / ∇ / \leftarrow / \rightarrow

ズーム中止

• 拡大した画像を保存するには: [トリミング]→別冊「活用編・困ったときは」55ページ

一覧(インデックス)表示で見るときは

 (インデックス)ボタンを押す。画像をタッチすると、シングル画面に戻る。

Δ / ∇ をタッチすると前後の画面に移動する。

もう一度押すと12画面表示になります。

• 一覧(インデックス)表示で画像を削除するときは

1 一覧表示中に[MENU] → [削除] → [選択]の順にタッチする。

2 削除したい画像にタッチして、 (削除)マークを付ける。

削除を中止するには

取り消したい画像をタッチし、 (キャンセル)マークを消す。

3 [実行] → [実行]の順にタッチする。

• フォルダ内のすべての画像を削除するには、手順1で[選択]の代わりに[フォルダ内全削除]をタッチする。